



おやこミnote

2008

もっとふれあおう。
もっとつながろう。
未来を担う子どもたちは、
私たちすべての
かけがえのない宝だから。

家庭から、企業へ、地域へ、社会へ——

いしかわ子育て支援財団は、

子育てを社会全体で支える仕組みづくりを進めるために、
多彩な活動に取り組んでいます。

プレミアム・パスポート事業、しあわせ発見事業、

心のふれあいプロジェクトなど他に先駆けた

ユニークな取り組みはおかげさまで着実な成果をあげ、

「子育て先進県」として高く評価いただいています。

これからも、皆様のニーズに

確実にお応えする支援をめざして、

さらなる可能性に挑み続けます。

CONTENTS

プレミアム・パスポート事業	4
しあわせ発見事業	6
心のふれあいプロジェクト	8
イベントレポート	10
研修事業	11
育児サポーター	12
情報発信・情報交流	13
貸し出し事業	15



企業を、地域を、社会全体を—— プレパスがつなぐ、子育て支援の輪。

平成18年に全国初の試みとして開始されたプレミアム・パスポート（プレパス）。子ども（18歳未満）を3人以上持つ家族にプレパスを発行し、パス所持者に協賛企業からさまざまな特典が提供される子育て支援サービスです。3年目に入って、規模も内容も一段と拡充、日本中が注目する事業へと成長しています。



ふるさとといしかわ子育て応援ファンド

平成19年3月～

平成19年春に、さらに石川発の新しい取り組み「ふるさとといしかわ子育て応援ファンド」がスタートしました。プレパスが育んだ子育て支援の輪をさらに広げ、社会全体で子育てを応援する仕組みへ深化させるべく創設されたものです。県内の金融機関が金利を優遇した定期預金や投資信託を販売。その運用益の一部を少子化対策の活動費として、プレパスの運営主体の「子育てにやさしい企業推進



協議会」に寄付するというユニークな支援形式がとられています。

当ファンドを扱う金融機関は、北國銀行、金沢信用金庫、のと共栄信用金庫、北陸信用金庫、鶴来信用金庫、興能信用金庫の6社。通常より高い金利設定や子育て支援という趣旨が評判を呼び、ほとんどの金融機関が予定額を早々と完売。中には追加発売するところも出るほどの人気となりました。

ファンドから寄付が行われる期間は5年間。今年度の寄付金は1000万円近くに達する見込みとなり、「子育てにやさしい企業推進協議会」では、寄付金の活用事業を決定。商店街での「子育てサロンの設置」や「協賛店めぐり」をした応募者に抽選で景品を贈るキャンペーンの他、バーチャルモール「いしかわプレパス商店街」を平成20年秋頃に開設し、協賛企業商品のネット販売や子育て用品のリサイクル情報の掲載などをウェブ上で行う予定となっています。

プレパス優良協賛企業表彰

平成19年11月

プレパス利用者へのアンケートで、「特典内容が充実しているお奨めの店」として人気の高かった協賛企業の表彰式が石川県庁で行われました。およそ1,700におよぶ協賛企業の中から、選ばれたのが28社。このうち約半数が昨年に引き続いての受賞となり、「子育てにやさしい店 金賞」として表彰され、各社代表と谷本正憲知事との懇談の場も設けられました。



プレミアム・パスポート
ブログコーナー
<http://www.i-oyacom.net/prepass/family/>

プレパスを利用しているご家族から公募により、プレパス協賛企業・協賛店での体験や耳寄り情報をブログでお知らせいただいています。県内各地の利用者視点のレポートや、子育てに対する思いなどがご覧いただけます。

県民育児の日

毎月19日



石川県では、社会全体、特に職場において子育ての大切さを深く認識してもらうと同時に、仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）を考えるきっかけづくりとすために、毎月19日を「県民育児の日」と定め、多様な取り組みを進めています。

「チャイルド・プレミアム」は、その代表的事業。「県民育児の日」に子ども一人以上を連れて「チャイルド・プレミアム協力店」に行くと、プレパスを持っていなくても特典が受けられるサービスが実施されています。協力店の店頭には目印のタペストリーを掲示。平成19年5月19日にはいしかわ動物園で当事業の普及促進キャンペーンも行われ、谷本正憲知事が家族連れに利用を呼びかけました。



「県民育児の日」普及啓発の一環として企業理解と協力を呼びかけ、平成19年に「親子学校」を6回開催しました。これは、親子のふれあいを深める機会を提供するとともに、企業の理解と協力を呼びかけるのが狙いです。普段は見られないような場所を親子で探検するバスツアーを実施

するもので、平日の有給休暇取得も促進しています。参加対象者は、「県民育児の日」に定時退社などの具体的な取り組みを行っている企業、ワークライフバランス登録企業、またはプレパス



協賛企業の社員とその家族。北陸新幹線の建設工事現場や昆虫館の飼育室など一般には公開されていない場所を特別に見学できたり、平日に親子がふれあえるなど、人気の企画となっています。

子育てに優しい企業トップセミナー

平成19年3月／11月

石川県と「子育てにやさしい企業推進協議会」は、企業の代表者や人事担当者を対象に、ワークライフバランスへの取り組み強化を促すセミナー「子育てにやさしい企業トップセミナー」を開催しています。

平成19年3月15日には、加賀電子（株）取締役社長の塚本勲氏が、「秋

葉原のミニ企業、世界へ」のテーマで講演。11月15日には、内閣府「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」に関する専門委員会委員の小室淑恵氏と上手康弘氏が講演や事例発表を行いました。



平成19年3月15日 塚本勲氏 講演

平成19年11月15日 上手康弘氏 事例発表

「ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞受賞

平成19年11月



平成19年1月 「につけい子育て支援大賞」表彰式



平成19年11月 「ワーク・ライフ・バランス大賞」表彰式

平成19年1月に本県のプレミアム・パスポート事業が第1回「につけい子育て支援大賞」を受賞しました。さらに11月には、仕事と生活の調和に向けて、自発的活動や創作的取り組みを行った企業・自治体などに与えられる第1回「ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を、石川県と「子育てにやさしい企業推進協議会」が受賞しました。

大切な出会いが人生を豊かにする。 石川発、新しいしあわせのを見つけ方。

「しあわせ発見事業」とは、
独身男女に出会いの場を提供し、
カップルの成立を応援する事業。
未婚化・晩婚化の流れに歯止めをかけて
少子化対策の一環として、
平成17年度より行われています。
出会いの場を提供するボランティア
「縁結びist」の方々の努力が実を結び、
平成19年9月末までに成婚37件、
交際中149件という
成果をあげています。

縁結びist養成講座

平成19年6月

「しあわせ発見事業」を牽引するのが、「縁結びist」。結婚の意志のある独身男女の仲介役として、出会いの場「タウンミーティング」の参加者募集や、結婚を考える独身男女のよき相談相手として、結婚相談や出会いの場を提供するボランティアスタッフです。

いしかわ子育て支援財団に登録されている「縁結びist」は、昨年度末までで150名超。うち能登地区の69人、金沢地区の61人に比べると、加賀地区では28人と少なかったことから、本年度は“地域格差”を解消するべく、初めて加賀地区で養成講座が開かれました。

6月29日と30日、2日間の講座の会場となったのは、小松市の『石川県こまつ芸術劇場うらら』。当財団の谷内迪子専務理事が、「未婚の男女に、伴侶を得ることで人生がより幸せに、豊かになることを伝えたい」と語り、受講生たちに「縁結びist」の活躍状況を紹介しました。初日の講座には、日本青年会館結婚相談所の板本洋子所長が「現代の結婚・支援の状況と若者事情」をテーマに講演。また、千曲市



社会福祉協議会の西澤恵美さんが長野県の結婚支援活動の状況を紹介しました。

2日目は、ブライダルコンサルタント佐藤律子さんによる講演『独身男女へのアドバイスー縁結びの新时代』が行われたほか、「縁結びist」の活動報告、個人情報保護に関する研修などが実施されました。

当講座が開かれたことにより、「縁結びist」の登録総数は一気に212人へ。加賀地区の“格差”も解消され、「縁結びist」活動がほぼ県全域を網羅する体制が整いました。

サロン増設

「縁結びist」の登録人数が200人を突破。結婚支援活動が県全域をカバーできる状態となったことを受けて、金沢、七尾に引き続き、小松と輪島にも『縁結びist交流サロン』が開設されました。

このサロンは文字通り、金沢にある交流サロンのサテライト的役割を担うもの。『サテライト小松』は県小松合同庁舎内に、『サテライト輪島』は県奥能登総合事務所内に設置され、「縁結びist」同士の情報交

換や、結婚を希望する男女への相談活動などに利用されます。4箇所体制が整ったことにより、しあわせ発見事業の一層の充実やカップル成立率のアップが期待されます。



交流サロン 金沢
H18.9.11開設



サテライト七尾
H18.10.11開設



サテライト小松
H19.10.5開設



サテライト輪島
H19.10.15開設

電話
相談

毎週火・水・木 9:30~12:00 a.m.
(※年末年始、祝日を除く)

交流サロン
専用電話
(共通)

ふ う ふ み な し あ わ せ
076-223-4807
(夫婦皆幸せ)

タウンミーティング

平成19年5月／7月／9月(2回)／10月／12月(2回)

独身男女に出会いの場を提供する「タウンミーティング」。毎年県内各地で実施されています。

本年度も、県内5市町で計7回開催。9月15日のイベントは、主催の金沢市農業青年グループ連絡協議会らしく「スウィートポテトでしあわせ発見ー一郎島金時収穫祭」と題され、男女約55人が芋掘りや手作りソー

セージを体験しました。10月28日の「ワンDAYサークルin能登島」には、25歳から45歳までの24名が集合。バーベキューやグラウンドゴルフを通して理想の相手探しを楽しみました。

12月には「ディスカバリーin宝達志水町」が宝達志水町で、「ハッピーワイルドストロベリー」が白山市で

行われました。各会それぞれに趣向を凝らした催しが用意され、さまざまな体験活動を共有しながら理解を深め合うスタイルが参加者に好評を博しています。交際を始めるカップルも続出、大盛況のうちに平成19年度の企画が終了しました。

石川・福井情報交換会

平成19年12月

ともに先駆的な結婚支援事業を展開する石川県と福井県が、初となる情報交換会を開催。福井からは県婦人福祉協議会の光成正子会長らが、石川からは当財団の谷内迪子専務理事らが出席しました。

福井側の報告は、昭和39年に始まった結婚支援事業の活動状況がメイン。石川は、谷内専務理事がタウンミーティングの成果などを発表しました。今後も継続して情報交換会を開催していくことが確認されました。

縁結びistマニュアル

独身男女への助言の仕方から個人情報保護に関することまで、「縁結びist」の活動の指針となるマニュアルが平成20年に発刊。



心を交わす、心を結ぶ。 体験学習が育む次世代の意欲と夢。

いじめ、児童虐待、少年犯罪…。子どもにまつわる問題は深刻化し、複雑化しています。原因の一つに人間関係づくりの未熟さが挙げられますが、そこに焦点を定め、異年齢との交流体験を通して子どもたちの心を育もうとする試みが「心のふれあいプロジェクト」です。いしかわ子育て支援財団は、次世代を育む「心のふれあいプロジェクト」を積極的に推進しています。

「心のふれあいプロジェクト」とは

いしかわ子育て支援財団が進める「心のふれあいプロジェクト」とは、異年齢交流を通して子どもたちの心を育もうとするユニークな取り組みです。現在鳥取大学医学部准教授である高塚人志氏が、鳥取県立赤碕高校に勤務していた頃の9年間の「人間関係体験学習」がベース。異年齢との交流活動を通してそばにいる人の役に立っているという「役立ち感」を得、相手の気持ちを大切に思うことに「気づき」ながら、人間関係づくりを体得して生きる力を伸ばしていこうとするものです。この学習は、年間を通して継続的に進められ、生徒たちは一定の保育園等に定期的に出かけてパートナーとなる乳幼児とふれあいます。同じパートナーと継続的交流を続けることで、自分が期待され

必要とされているという「役立ち感」を実感し、自己肯定感や生徒が本来持っている力が引き出されていくというプロジェクト学習です。

この先駆的取り組みは今、全国の注目を集めています。いしかわ子育て支援財団では、他に先駆けて昨年度より「心のふれあいプロジェクト」として推進しています。本年度は年間の継続学習として県内6つの高校で実践されました。いしかわ子育て支援財団では、乳幼児たちとふれあう実際の体験学習はもとより、当プロジェクトを推進するコーディネーターの養成研修も積極的に実施。県内の保育士・幼稚園教師や高校教師の参加を募り、「心のふれあいプロジェクト」の県内全体への浸透を図っています。

乳幼児ふれあい保育モデル事業

石川県では、「乳幼児ふれあい保育モデル事業」として「心のふれあいプロジェクト」が実践されています。

当事業では、高校生と乳幼児との交流を長期的で継続的なものと発



展させ、子どもたちが親になるために自己を確立し、結婚や子育てに対して前向きに考えていくことを目的としています。次代を担う若者たちの豊かな感性・豊かな心の育成を図ると同時に、乳幼児が異年齢の高校生との交流を通じて健やかに発達することも期待されます。また、この事業を推進する指導者の育成も事業の柱の一つに取り込まれています。

平成19年度に乳幼児とのふれあい保育を実践した高校は、6校。生徒たちが保育所に定期的に出向き、交流を深めました。初めのうちは高校生の戸惑い、悩む姿も見受けられま



したが、回を重ねるごとにコミュニケーションが深まり、活動終盤には生き生きとした表情でパートナーの園児たちと過ごしていました。

今後はさらに、保育所の園児ばかりでなく地域の家庭内で育つ乳幼児にも対象を広げ、地域と一体となったプロジェクトに発展させていく構想も進められています。

(写真:志賀町乳幼児保育園にて、県立高浜高校生による実習)

心のふれあいプロジェクト
モデル実施校 (平成19年度)

七尾市 県立田鶴浜高校
志賀町 県立高浜高校

白山市 県立松任高校
能美市 県立寺井高校

小松市 北陸大谷高校
小松市 県立小松明峰高校

指導者養成研修

平成19年6月／10月／平成20年2月

「心のふれあいプロジェクト」を実践する指導者の養成研修会が、6月、10月、2月の3回行われました。

講師は、各回ともに、当プロジェクトの生みの親である鳥取大学医学部准教授、高塚人志氏。1回目の6月15日は「ヒューマン・コミュニケーション

ワークショップー聴き方一つで人は育ち、人は動く」がテーマ。2回目の10月7日は「異世代交流活動に有効なヒューマン・コミュニケーション技術」、3回目の2月2日は「すてきなあなたになるために一人間力を高めるヒューマン・コミュニケーション演習」

と題した研修プログラムが行われました。

毎回、県内の高校教師や保育士らが多数参加。参加者たちはワークショップを通して、効果的な意思疎



通の方法を学びあいました。また、鳥取で行われた「短期集中ヒューマン・コミュニケーションセミナー」へも、希望者が参加しました。

COLUMN

「心のふれあいプロジェクト」に参加した高校生のコメントが、北國新聞「デスク日誌」で紹介されました。この高校生は、赤ちゃんの泣き声について、「親は泣き声から何のサインかを見抜く『超能力者』にならないといけない」と語り、自分は乳幼児とのふれあいを重ねるたびに『超能力』が身につく、「赤ちゃんの訴えがだんだん分かるようになった」と発表したと述べられています。記者からは「将来の育児への『準備運動』以外にも、他人への役立ち感を得る効果があるようだ」とのコメントが寄せられています。(北國新聞 平成19年9月19日付掲載記事より)

こども未来の城

平成19年4月



ゴールデンウィーク初盤の4月29日・30日の2日間、恒例「春の舞ひろさか」合同の人気イベント「こども未来の城」がいもり堀園地で行われました。

初日のオープニングセレモニーのメインは、こいのぼりの掲揚。「空をこいのぼりでいっぱいにして子育て応援を」との主旨で行われる「第2回こいのぼりを揚げようキャンペーン」との合同開会式では、集まった園児らがこいのぼりを高くと掲揚。県内18の保育園・幼稚園などへこいのぼりが贈呈されました。

会場には、5つのゾーンを開設。ミルクや離乳食の試飲・試食ができる「kidsゾーン」、工芸体験や育児用品のリサイクルショップがある「情報・交流ゾーン」、壁のぼりやチャンバラ体験ができる「あそびゾーン」のほか、「プレパスゾーン」「はたらく車展示ゾーン」が勢ぞろい。不要な育児用品を売って能登半島地震の義援金にあてる震災チャリティショップや「縁結びist」による結婚相談コーナー、学生や生徒の有志が運営するブースなども開設され、家族連れなど大勢の人たちがふれあいのひとときを満喫しました。



未来の主役のはぐくみを、地域で支える。社会で支える。

家庭、地域、企業、行政…。社会の大切な宝である子どもたちは、社会全体で手を取り合って育てることが重要です。すべての人に気づいてもらうこと、あらゆる企業・団体に協力や参加を呼びかけること、そしてさまざまな側面からニーズに即した支援を行うことをめざして、いしかわ子育て支援財団は多彩な事業を展開しています。

子育て支援メッセ

平成19年8月

地域や企業はじめ社会全体が連携して子育てを応援しよう、という趣旨のもとに毎年開催される「子育て支援メッセ」。本年度は、能登半島地震からの復興に励む珠洲市を舞台に繰り広げられました。

会場となったのは、りふれっしゅ村鉢ヶ崎。子育て支援の関係団体や関連企業が集合し、日頃の活動紹介やPRを行うブースを展開、子育てや次世代育成支援に関する情報、体験などが次々と提供され、「縁結びist交流サロン」も出張開設。県内各地から家族連れが大勢詰めかけ、復興を

後押しする賑わいとなりました。

また、関連事業として行われた「あったか半島のと祭」『日本・親子の絆プロジェクト '07珠洲ジャンボリー』では、風評の一扫を図って首都圏の親子を招待。珠洲の親子と1泊2日の野営生活を体験する「親子の絆テント」が催されました。他にもチャリティ音楽祭や福祉音楽祭、被災地の親子頑張れ公開撮影、親子写真展などが多彩に行われました。



育てる力を、強く、大きく。

子どもが変わった、親が変わった、といわれる時代。ますます難しくなる子育てに、エキスパートの力は欠かせません。いしかわ子育て支援財団は、子育てのプロフェッショナルたちのパワーアップを応援。頼りになる人材を擁して石川の子育てを後押しします。

男性保育士・幼稚園教諭研修会

平成20年
1月

男性の保育士や幼稚園教諭の数が年々増加しています。石川県内でも10年前はわずか7人でしたが、5年前には33人、そして本年度は68人へと急増しています。

とはいえ男女総数5057人においては、わずか1.3%。そこでいしかわ子育て支援財団では、毎年男性のみを対象とする研修会を開催。保育技術の育成を進める一方、女性が圧倒的に多い職場で働くことの困難さや悩みを語り合う場を定期的に提供しています。

6回目となる本年度は、金沢市の県地場産業振興センターで1月25日に開催。今回初めて富山県からも6人が出席し、総勢60人あまりの参加となりました。

講師として招かれた神戸常盤短大幼児教育学科の小崎恭弘准教授は、自身が西宮市初の男性保育士であった経歴を披露。5年間の保育士生活中に、公園で園児たちと遊んでいて不審者に間違えられた体験などをユーモアを交えて紹介しました。

小崎氏は、「男性という個性を持つ保育者として力を発揮することも大切。育児とは男女が共同で行うもの。保育現場に男性が加わることは、これからの時代の子育てモデルとなり得る」と語り、男性保育士の社会的役割の重さや今後の可能性などを提示しました。



第5回保育所嘱託医・幼稚園医等研修会

平成19年
10月



(社)石川県医師会と連携して、保育所嘱託医や幼稚園医を対象とした研修会を毎年開催しています。5回目となる本年は、10月に開催。金沢大学教授の関秀俊氏、NPO子どもとメディア代表理事の清川輝基氏、吉村小

児科院長の内海裕美氏を講師に招き、就学前の子どもたちの健全育成や子育て支援に関する理解を深めあいました。

石川県放課後児童クラブ指導員研修会

平成20年
3月

放課後児童クラブとは、保護者が仕事などで日中家庭にいないため、保育が必要となる小学校低学年の児童に、適切な遊びと生活の場を提供するもの。年々重要度を増す放課後児童クラブで子どもたちの指導や世話をする指導員が、子どもの発達などに理解を深め、資質向上を図る研修会が3月5日能美市で、3月6日には七尾市で開かれました。

研修会では児童健全育成推進財団 企画調査室長の野中賢治氏が「子どもの心の発達と放課後児童クラブ」をテーマに講演。子どもの集団特性からみた課題や職場倫理などを説きました。



事業所内保育施設等保育従事者研修会

平成19年
11月

企業などが従業員の子どもを保育を目的に開設する、事業所内保育施設等の認可外保育施設職員のための研修会が毎年行われています。平成19年度は、講師に輪島市くしひ保育所前所長の大倉好子氏を迎え、「震災、その時の管理体制」「食を通じたアプローチ」「感染症等の病気や衛生への対応」などの講義・実技指導が行われました。



育児のプロの、 出前サポート

当財団に登録いただいている有資格者（保育士、幼稚園教諭、看護師など）の育児サポーターが、イベント保育室の一時保育、子育て教室や育児サークルでの手遊び指導、パネルシアター上演などで活躍しています。お手伝いが必要なときはぜひ声をおかけください。

わくわく子育て教室

保育所や幼稚園を開放して育児教室などの子育てイベントを開きたい方はご相談ください。育児サポーターがお手伝いします。

イベント保育室

コンサートなどのイベントで臨時保育室を開催する際、サポーター派遣や遊具貸出を行います。

育児サークル支援

地域で自主活動が続ける育児サークルに、遊びやゲームを指導。サークルの運営を後押しします。

おはなし広場

子育てへの理解と支援を促すために、デパートのイベント広場など、誰もが気軽に利用できる場で開催する子育て教室です。ご希望の場所で出前開設します。

「親業」モデル人形劇派遣

子育て経験の乏しい親に、人形劇を通して子どもへの接し方やしつけを教えると同時に、「親業」の大切さを伝える全国初の取り組みです。ご要望に応じて出前上演します。

よりよい子育て 情報ネットワークへ。

無数の情報が一瞬にして世界を駆けめぐる時代です。役立つ情報、楽しい情報、緊急の情報…。子育てに関する多様な情報の受発信から交流・ネットワークづくりまで。いしかわ子育て支援財団は、子育てコミュニケーションのコーディネートを進めています。

おやコミ!.net

子育て中の人やもうすぐ親になる人のためのコミュニティサイト。育児情報はもちろん、リアルタイムの不審者情報、サークル交流、メール相談など役立つ情報満載です。

<http://www.i-oyacomi.net/>

子育てバリアフリーマップ

店舗や医療・福祉施設、公園などのバリアフリー度情報、医療や福祉サービスが受けられる拠点などをホームページ上でお知らせします。

<http://www.i-oyacomi.net/kosodate-bfmap/>

便利な携帯サイト
もあります。



バリアフリーマップ



携帯向け メールマガジン

子育てに関するイベントやセミナー、子育てお役立ち情報、不審者情報、感染症情報などを携帯電話にもメールでお届けしています。ぜひ登録ください。

イベント・セミナー・子育てに関する情報 ● 月1回程度配信
不審者情報 ● 緊急情報が入り次第、タイムリーに配信
感染症情報 ● 毎週1回配信



メールマガジン

いしかわ 子育てスタイル べんり～な

プレミアム・パスポート情報と子育て便利情報を満載した、便利な小冊子。プレパス協賛企業の一覧はもちろん、各種制度の紹介や保育所・幼稚園リスト、サークル情報、相談窓口など、子育てに関するすべてを掲載しています。



TOPICS 1

平成19年4月/6月

被災の輪島市へ サポーター派遣

平成19年3月25日に起こった能登半島地震は、能登に甚大な被害をもたらしました。特に被害が集中したのが、輪島市。そこでいしかわ子育て支援財団では、ボランティアとして育児サポーターを輪島市に派遣しました。



4月13日には、とりわけ被害が大きかった門前町のくしひ保育所へ、3名の育児サポーターが出向きました。くしひ保育所は震災後一時避難所となっていたため、職員たちは保育室の復旧に忙殺されており、育児サポーターが保育士に代わって子どもたちの世話を担当。絵本の読み聞かせなどを行いました。



6月には、小松地区のサポーターを、輪島市児童センターへ派遣。育児のプロとして被災の町の育児支援を行いました。

TOPICS 2

平成19年10月～

オレンジリボン キャンペーン

石川県では、増加傾向にある児童虐待を阻止する気運を高めようと、平成19年10月末より「オレンジリボンキャンペーン」を開始しました。当キャンペーンは、2004年に栃木県小山市で起きた児童虐待死亡事件がきっかけで始められたもので、石川県では、虐待防止の象徴であるオレンジリボンを付けた賛同者が、キャラバンを組んで各市町を巡回しています。

同時に、いしかわ子育て支援財団の育児サポーターたちも、虐待防止につながる演劇を親に向けて上演。親が困った時に地域の保育園が相談に乗る「マイ保育園制度」なども劇中で紹介しながら、児童虐待防止に積極的に取り組んでいます。



子育て支援 人材 データベース

子育ての分野で活躍中の専門家が集合する人材データベース。ジャンル別や職業別に、ホームページ上で手軽に人材検索ができます。

子育て関連の講師をお探しのグループ、団体の方はぜひご活用ください。講師の連絡先については財団までお問合せください。

分野別一覧 **職業別一覧** で検索できます。

<http://www.i-oyacomini.net/zaidan/jinzai/>

【登録例】 大学教授、医師、弁護士、保育士、教諭、看護師、保健師、理学療法士、助産師、薬剤師、心理判定員、栄養士、調理師、手遊び・読み聞かせ・レクリエーション・リトミック・リズム体操・音楽療法などの専門家など

お気軽に ご利用ください。

いしかわ子育て支援財団には、育児教室や育児サークル、子ども向けイベントなどで活用できる遊具や着ぐるみがあります。どれも無料で貸し出していますので、ご利用になりたい方はお気軽にお申し込みください。



育児用品 リサイクル ショップ

資源の有効活用と育児費用の軽減を図るため、原則毎月決まった場所で開かれている恒例のフリーマーケット。育児用品なら何でも売ったり買ったりできます。お財布にも地球にもやさしく、パパママ同士の交流の輪が広がります。出店申込み・お問合せは財団まで。

日程など詳細は、ホームページでご確認いただくか、または、財団までお問合せください。



子育て メール相談

ホームページでも携帯電話でも手軽にアクセスできます。子育てに関することなら何でもご相談ください。専門相談員がメールでお返事します。

パソコン
ケータイ

<https://www.i-oyacomini.net/ouen/mail/>

<http://www.i-oyacomini.net/mobile/mail/>



メール相談

※緊急を要するもの、生命に関わるもの、医療・健康上のご相談は、専門機関にお尋ねください。

休日相談室

【相談時間】
12:00～16:00

平日は忙しくて時間のない方のための休日育児相談室。県内各地のデパート・スーパーなどで開設しています。保健師または助産師による無料保健相談も行います。お気軽にどうぞ。

金沢相談室	香林坊大和7階 親子休憩室横 相談室	【毎週日曜日】
金沢相談室	めいてつエムザ7階 ベビーサロン	【第1日曜日】
小松相談室	アル・プラザ小松2階	【毎週日曜日】
白山相談室	ジョイモール2階 親子よろこびの広場 あさがお内	【第1～4日曜日】
羽咋相談室	あだちストア・ジョイフル店横 子育てサロン内	【第1日曜日】
輪島相談室	輪島マーケットファミイ 特設会場	【第2日曜日】
津幡相談室	アル・プラザ津幡2階 赤ちゃんルーム	【毎週日曜日】
加賀相談室	アビオシティ加賀2階 ちびっ子広場内	【第3日曜日】

積み木

安全で優しい集団用積み木セット。ピース数が多く、大人数で使うことができます。

〔和久洋三氏監修〕

金沢東・南・尾山・ひかり・伏見・みどりの6ライオンズクラブより寄贈



着ぐるみ

トナカイ、パンダ、いぬ、うさぎ、ねこ、ねずみ、とら、あらいぐまなどがいます。

国際ソロプチミスト金沢より2体寄贈



「台所育児食育調理」 子ども用調理器具

子ども用の包丁、キッチンばさみ、ピーラーなどが40セットあります。料理教室などに。

〔株〕北國銀行
北國銀行従業員組合より寄贈



〔坂本廣子氏（料理研究家）監修〕

トーンチャイム

共振用フォークを利用した普及型のハンドベルです。美しい音が響きます。

〔株〕北國銀行
北國銀行従業員組合より寄贈



ふわふわ

ドームタイプで床にウレタンマット使用。直径4m×高さ3m／定員6名程度

金沢信用金庫より寄贈



遊具・教材

■おはなしてぶくろ ■エプロンシアター
■ミュージカルかみしばい
■パネルシアター ■かみしばい など

育児教室、サークル、イベントなどにご活用ください。

寄付
ミルクカー
金沢信用金庫より



ミルクBar（ミルクの試飲コーナー）機能を搭載した「ミルクカー」を、金沢信用金庫よりご贈呈いただきました。

子育てイベントで大人気のミルクBarの移動が容易になり、より多くの方々にご利用いただけます。

わたしたちは、皆様のパートナーとして
子育て支援活動のさらなる進展に取り組みます。
かけがえのない宝、こどもたちのために…

おやコミnote

平成20年3月発行（掲載されている内容は平成20年2月現在のものです。）

財団法人いしかわ子育て支援財団

〒920-8557

金沢市本多町3丁目1番10号(石川県社会福祉会館内)

TEL:(076)262-1530 FAX:(076)262-1540

[URL] <http://www.i-oyacom.net/>

[E-mail] info@i-oyacom.net



おやコミトップページ



アクセス

- バス / JR金沢駅東口から約25分
- タクシー / JR金沢駅東口から約15分